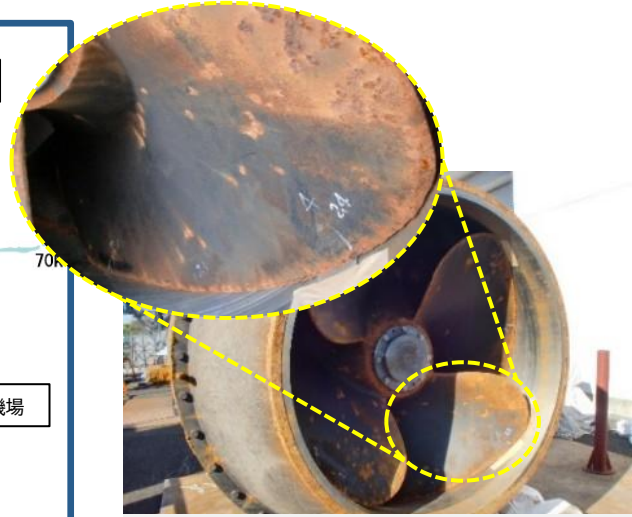
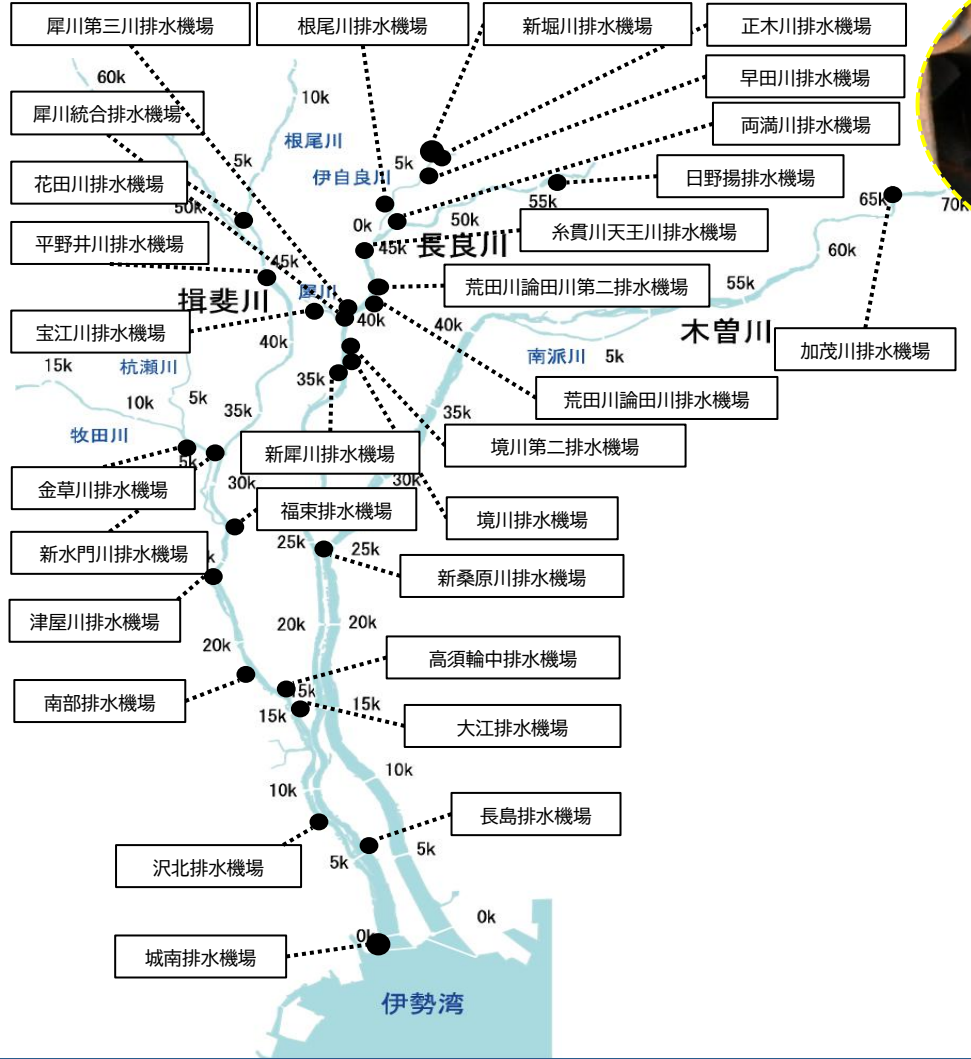


# 9. 河川管理

## 河川管理施設の老朽化

木曾川上流河川事務所は、堤防や排水機場等、様々な河川管理施設の維持管理を行っています。これらの河川管理施設は設置から40年以上経過しているものが多く、施設の老朽化が進行している状況です。また、近年の社会情勢の変化等により施設の維持管理に係るコストの拡大、人員の確保が課題となっております。

### 木曾川水系の揚排水機場



羽根車の腐食進行状況



腐食した扉体

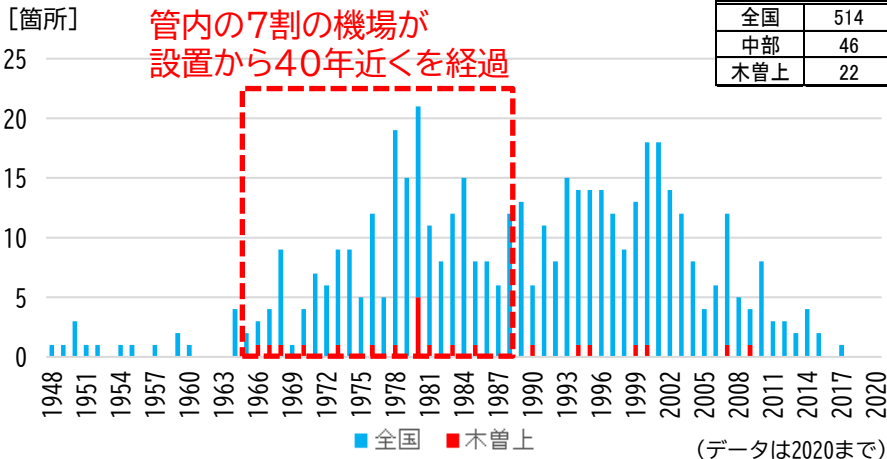


老朽化した開閉装置



老朽化した樋門の取付護岸

### 揚排水機場設置年(全国・木曾川上流)



河道および河川管理施設の点検を行いその機能を維持し、洪水時には排水機場や樋門などの河川構造物を機能させて水害を未然に防止します。増大する河川管理施設を確実に維持するため、維持管理計画を策定し、PDCAサイクル型河川管理を導入するとともに、維持管理コストの縮減にも取り組んでいます。

## 河川管理施設の維持管理

- ◆ 河川巡視や施設点検により、堤防や排水機場などの河川管理施設の異常・危険箇所を日常的に把握し、不法投棄・不法占用など不法行為の防止や、維持修繕を行います。



河川巡視



異常発見



補修

- ◆ 出水に備え堤防の異常を発見するため、年に2回程度堤防の除草を実施します。異常が発見された場合、速やかに補修工事を実施します。



除草



刈草の集草・搬出

- ◆ 洪水時の流水の妨げや過度な深掘れを引き起こす河道内樹木群の伐開を順次実施します。



樹木繁茂状況



伐開

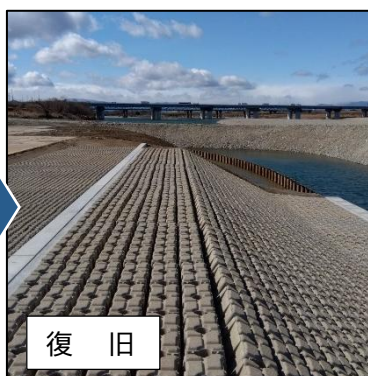


伐採木の無料配布状況

- ◆ 被災した護岸の修繕や、異常箇所の修復など、堤防機能を守る維持工事を順次実施します。また、排水機場のポンプ設備等の分解整備や更新、樋門・樋管のゲートの修繕や無動力化及び耐久性向上など、機械設備の機能維持のため修繕工事を実施します。



護岸被災



復旧



ポンプ設備の修繕前



修繕後

## 洪水時、水質事故発生時の対応

- 洪水時には、河川巡視を実施し、法崩れや漏水発生などの異常箇所を早期に把握するとともに、異常箇所の拡大防止のため応急対策を地域の水防団などと連携し実施します。



対策本部



現地確認(水防団等)

情報共有

### 河川管理延長

河川管理延長	171.9 km
岐阜県内	150.2 km
愛知県内	21.7 km

### 木曽川上流河川事務所管内の主な河川管理施設等

直轄排水機場等	22 機場 (ポンプ70台)
許可排水機場	66 機場
直轄樋門・樋管	116 箇所
許可樋門・樋管	122 箇所
直轄陸閘	129 箇所
許可陸閘	4 箇所

- 排水機場や樋門・樋管ゲートの確実な操作により内水被害の防止・軽減を図ります。



陸閘操作状況(水防団)



排水機場操作状況

- 水質事故に備え、迅速且つ的確に対応できるよう訓練等を実施するとともに、いざという時は、流域自治体と連携して、被害を最小限に抑えます。



水質事故対策訓練



水質事故発生



流下防止  
(河川に流出した油をオイルマットで回収)

## ユスリカ対策

- キソガワフユスリカ等は、冬季に木曽川中流部で発生し、伊吹おろしにより、東側(一宮市、稲沢市)に吹き寄せられ、被害が集中しているため、ユスリカの発生量を調査するとともに、被害を軽減するための検討・対策を関係機関とともに継続して行っています。



ユスリカ発生状況